

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 清須市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価								
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標		
巡回・窓口相談指導事業	景気動向は穏やかな回復基調であるが、小規模事業者は依然厳しい経営環境にある。そこで、経営指導員が中心となり全職員で事業所に訪問し金融相談等経営全般について、様々な相談指導を行い、健全な企業の育成を図る。また、経営発達支援計画に基づき、経営分析・経営計画策定・経営革新・創業等の支援を行い経営課題を把握しその解決のための具体的な対策や改善方法の提案を行う課題解決提案型巡回を実施する。	巡回指導 実企業数 1,124件 延指導件数 3,061件 窓口指導 実企業数 291件 延指導件数 637件 課題解決提案件数 実企業数36件 非会員相談件数 実企業数 47件 延指導件数 64件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 103.4 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 80.0 %)			専門的な指導の実施や情報提供機能の充実強化により、小規模事業者の問題点・改善点を提供できた。また小規模事業者持続化補助金などの相談に経営計画作成指導を行い、経営課題の解決に向け指導ができた。	総合評価 A	実施評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	経営発達支援計画に基づき経営計画策定を行い今後事業所の経営発達に努める事を重点項目とする。
				目標数値	3600	実績数値	3724	目標数値	45	実績数値	36				目標達成度	B	必要性	A	下げる	
記帳継続指導	個人事業主を対象に、正しい記帳方法と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化や計算管理による経営力の向上支援を行う。	指導企業数 254人 指導延日数 1,065日 指導延回数 3,348回	小規模事業者	指標	記帳継続指導対象者 (達成度 104.5 %)			指標	(達成度 %)			記帳継続指導により青色申告制度の特典や税制改正に伴う記帳指導で期限内申告の適正化を図り効果を得た。また、試算表による指標分析で経営力の強化支援ができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	商工会の施策普及の一環の中で、記帳指導に関する案内を作成し、新規の対象事業所募集に努める。
				目標数値	243	実績数値	254	目標数値		実績数値					目標達成度	A	必要性	A	現状維持	
講習会等	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識・税務・経理・労働・法律等の知識の習得や経営発達支援計画実施にあたり経営計画作成セミナーを開催し、小規模事業者の課題に対し啓蒙を図り、事業者の質向上と円滑なる事業運営に資する。	集団講習会 14回 259人 個別講習会 51回 620人 計 65回 879人	小規模事業者	指標	集団講習会参加延人員 (達成度 83.0 %)			指標	個別講習会参加延人員 (達成度 93.1 %)			集団講習会については、一般的な経営講習会の参加者が減少傾向である。しかし対象者を絞った専門的な講習会においては参加者の知識習得ができた。また、個別講習会については、税務・経理を主体に決算書・確定申告書作成について税理士を委嘱し、きめ細かく指導ができ参加者の要望は高い。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	経営発達支援計画に基づいた集団・個別セミナーを開催し講習会を実施する。支援者を特定し重点的な講習会を実施する。対象者を絞り込んだ講習会開催の為参加者を減らす。
				目標数値	312	実績数値	259	目標数値	666	実績数値	620				目標達成度	B	必要性	B	下げる	
若手後継者等育成事業（青年部対策事業）（女性部対策事業）	地域商工業の青年・若手後継者及び事業に携わる女性を対象とした講習会等の開催、地域活性化を目的とした各種イベント事業の実施により、地域振興やまちづくりに寄与する。	・青年部事業参加延企業数 456社 ・女性部事業参加延企業数 383社	商工業者	指標	青年部事業参加延企業数 (達成度 114.0 %)			指標	女性部事業参加延企業数 (達成度 119.7 %)			経営に関する知識の習得と各種施策普及を図ることにより意識向上と地域振興及びまちづくりに寄与する事ができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	部員の団結力を活かし、事業活動を積極的に推進する。
				目標数値	400	実績数値	456	目標数値	320	実績数値	383				目標達成度	A	必要性	A	①上げる②現状維持	
祭典事業（春日五条川さくらまつり・清須産業まつり事業）	祭典事業の集客力を活かし、地域の経済活動を促進し、地域産業（地域資源）PRの機会とともに、地域の総合的な振興を図る。	・春日五条川さくらまつり 4/1 参加企業 21事業所 来場者数 5,000人 ・清須産業まつり 10/8 参加企業 37事業所 来場者数 25,000人	商工会員（出展者） 一般市民（まつり来場者）	指標	春日五条川さくらまつり来場者数 (達成度 100.0 %)			指標	清須産業まつり来場者数 (達成度 100.0 %)			催事をとおし地域住民に地域産業・地域資源・観光資源の周知をすることができ参加企業にとってもPRの機会となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	現行どおり実施し、更なる地域活性化を図る。
				目標数値	5000	実績数値	5000	目標数値	25000	実績数値	25000				目標達成度	A	必要性	B	現状維持	
部会・委員会事業（商業振興事業）（工業振興事業）	部会活動を通して情報交換をしたり、共同で各種事業を行うことにより部会員同士の親睦が深まり、部会活動の活性化に繋がり、地域振興やまちづくりに寄与する。	・商業部事業 諸会議等 7回 延べ89名 視察研修会 9/19 40名 イベント事業16回 延べ211名 楽市券取扱事業所 389社 ・工業部事業 諸会議等 5回 延べ87名 視察研修会 11/10 27名 イベント事業 3回 延べ55名	商工業者	指標	商業部会事業参加延企業数 (達成度 106.3 %)			指標	工業部会事業参加延企業数 (達成度 169.0 %)			地域活性化・集客力アップに繋がるイベント事業に協賛することで街づくりに寄与することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	部会への周知を徹底し、事業協力者及び参加者の増強に努める。
				目標数値	320	実績数値	340	目標数値	100	実績数値	169				目標達成度	A	必要性	B	上げる	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 清須市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考	
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足
地域振興事業 （会員交流会事業）	地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域の商工業の発展に寄与することを目的とする。	・情報交流会 5/22 68名 ・取り組み総代理親会 12/11 32名 ・役員研修会 10/22-10/23 22名 ・企業懇話会 7/3、11/21 20社 （延企業）	商工業者	指標 事業参加延企業数 （達成度 94.7 %）	150	142	指標 （達成度 %）	地域の商工業者間で異業種交流を図ることで地域経済の向上がみられた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 調査結果 B	満足度 A 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現代どおり	会員への周知を徹底し、参加者の増加に努める。		
経営強化事業 （企業交流会） （まちゼミinきよす） （就活支援事業）	企業交流会は地区内の事業者に交流を深め、人脈拡大や情報交換など「名刺交換の場」を提供する事と、ビジネスチャンス創出と地域経済の活性化を図ることを目的とする。 まちゼミinきよすは、店主が講師となり、フロならではの専門的な知識や情報、コスを無料で受講者（お客様）にお伝えする少人数制のゼミを実施する事で、お店を知ってもらい店の専門性や特色をアピールする事ができる。 就活支援事業は、現在人手不足で悩む商工業者に対し就業者の確保を図るため働き作り人材育成に資する事業を実施する。	・企業交流会 1/23 参加企業数 41社 56名 ・まちゼミinきよす 9/15～10/31 参加企業数 35社	商工業者	指標 事業参加企業数 （達成度 71.9 %）	57	41	指標 まちゼミinきよす参加 （達成度 77.8 %）	地域内企業交流会を開催し、人脈拡大や情報交換、事業パートナー発掘の場となり、ビジネスに繋がった。またまちゼミを開催し、参加店の魅力発信の場となった。新規顧客獲得の機会の創出ができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 調査結果 B	満足度 A 必要性 B	補足	目標 下げる 実施方法 現代どおり	引き続き、地区内事業者との交流を深めるために企業交流会を開催し、人脈拡大や情報交換など「名刺交換の場」を提供し、ビジネスチャンス創出と地域経済の活性化に努める。	○	
調査・広報事業 （広報事業）	中小企業・小規模企業関連の施策利用の促進や制度の周知を図るための広報誌編集事業及びホームページやFacebookでの事業案内（随時更新）に努める。	・施策普及資料の掲載及び配布 年8回×1,500部 ・広報誌の作成 年4回×1,700部 ・ホームページでの事業案内（随時更新） ・Facebookの活用 随時更新	商工業者	指標 情報提供部数 （達成度 100.0 %）	18800	18800	指標 （達成度 %）	定期的な情報提供とホームページやFacebookの更新により、より広く情報発信でき、また商工会のPRにも繋がった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現代どおり	現行の内容に加え、市内小規模事業者からの景況調査による分析結果を広報誌やホームページ等で公表する。		
福利厚生事業	会員事業所の経営・雇用の安定化を図るために、福利厚生事業及び健康推進事業を積極的に実施し、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・生活習慣病予防検診 9/5、15、21、25 184名 ・ボウリング大会 8/25 190名 ・チャリティーゴルフ大会 11/8 82名 ・中小企業共済加入者懇親会 7/12 131名 ・新春初詣事業 1/16 109名 ・各種検定事業 年4回開催 105名	商工業者	指標 事業参加企業数 （達成度 106.8 %）	750	801	指標 （達成度 %）	会員事業所の経営及び雇用の継続的安定が図られた。各種共済加入により事業主の生活安定と雇用対策・労務改善・福利厚生事業で企業者の事業にあつたスケールアップとニーズに応えるとともに、商工会の自己財源の確保を図ることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現代どおり	事業者へ周知を徹底し、更なる利用者増加を促す。		
労働保険事業 （労働保険事務組合事業）	事業主が行うべき労働保険料の申告納付、労働保険に関する各種届出の事務手続きを行うことにより、小規模事業者の事務処理負担を軽減し、労働保険料の適正な申告納付を図ることを目的とする。	加入事業所数 250社	組合加入事業所	指標 加入事業所数 （達成度 104.2 %）	240	250	指標 （達成度 %）	組合加入者の事務の軽減をはかるとともに、労働保険に加入できない事業主や家族従事者も事務組合にて特別加入することができ、経営の安定につながることができた。また、法令遵守を指導するとともに商工会事業のPRにもなった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A 必要性 B	補足	目標 上げる 実施方法 現代どおり	事業PRを積極的にを行い、労働保険の普及に努める		
税務関係団体指導事業 （法人会、青色申告会事業）	法人会・青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動サポートや最新の税に関する情報提供等の支援を行い、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展を目的とする。	情報提供部数 ・法人会 延べ 520社 ・青申告 延べ 1668社	商工業者	指標 情報提供部数 （達成度 82.6 %）	2650	2188	指標 （達成度 %）	法人会・青色申告会を基礎とし、税務経理及び指導を行うとともに、正規の簿記の原則に従い正しい納税に協力している。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 調査結果 B	満足度 A 必要性 B	補足	目標 下げる 実施方法 現代どおり	税に対する情報提供を主に事業の推進にあたる。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。